

2012 年度英友会総会報告

2012 年 11 月 12 日

英 友 会 会 長

佐藤昌男（1960 年入学・文理学部）

昨年 11 月の総会で英友会会長に就任し早くも 1 年を経過し、今年度の「英友会総会」を無事開催することができました。今年度のスタートに当たっては高井英造前会長の築かれた新しい「英友会」のあり方をベースに、新たに選出された 8 人の新役員と共に英友会会員間の交流を進め、同時に現役 E S S 部員との交流を進めてまいりました。英友会ホームページの充実、会員名簿の更改など不十分な点もありますが、会員間の交流は確実に高まっていると思います。その結果、総会には会員 44 名、現役 19 名それに E S S 顧問・田端敏幸先生が参加されました。

第一部 総会（司会：荒井秀雄・1961 年工学部入学）

1. 活動報告（福部國弘・1960 年工学部入学）

- 1 役員会の開催（2 カ月に 1 度）情報交換と各種イベントの準備
- 2 2012 年度総会準備と開催
- 3 名簿整理と H P 更改
- 4 現役のイベント参加（詳細下記）
- 5 交流会の開催（詳細下記）
- 6 追悼会開催準備（2013 年 6 月に開催予定）

会員間の交流で難しいのは、卒業後 40 年間ほどは会員の皆さんが実社会で活躍されており、簡単に一同に会することができないからです。一方、65 歳以上のシニア世代でも、今なお現役として活躍中の方も居り、忙しい毎日を送っておられます。そのような状況下、今年の「世代別幹事会」は世代を大きく二つに分け「世代別交流会」として開催しました。具体的には 1950 年代~70 年代入学の第一グループ、1980 年代~200 年代入学の第 2 グループに分けて「交流会」を開催したのです。この試みの狙いは、世代間の年齢格差を狭めて、なるべく共通の話題で交流願いたいと考えたためです。

第一グループの交流会は 6 月 2 日（土）東京理科大学ポルター神楽坂で開催され 30 余名が集いました。狙いの一つであった「1970 年代入学者」の参加はわずかでしたが「失われた 70 年代」の掘り起こし作業は今後とも続けたいと思います。

第二グループは東京八重洲の居酒屋で開催され、現役学生 4 人も加え 50 余名の参加を得て賑やかな会となりました。世代が若いと云うことと、居酒屋と云う会場が気楽な気持ちで、参加を促す事になった結果だと思えます。

さて、現役との交流はどうかと云うと、昨年のドラマセクションの冬公演に参加することで実情を知ることができました。また、今年は他大学との協働プログラムにも参加する機会を得ました。トミーズカップ（新入生スピーチコンテスト）の会場にかけつけ、英友会より黄金の「Tommy's Cup」を寄贈した結果、コンテストも盛り上がり現役生よりも感謝されました。この関連では、上位 2 名が参加する「6 大学スピーチコンテスト（旧 7 大学スピーチコンテスト）」にも参加する機会がありました。現役生はディベート、ディスカッションなどの活動も行っているのですが、残念ながらこれらの活動に参加する機会はありませんでした。

2. 活動予定 (解説: 福部國弘)

- 1 役員会の開催 (2カ月に1度)
- 2 現役イベントへの参加
- 3 「SES/ESS追悼会」開催: 2013年6月15日(土) 場所: 東京理科大学森戸記念館
(詳細は連絡済みの「追悼会のお知らせ」参照。)
- 4 会員名簿の発行 (2年に1度) とHP更改
- 5 2013年度 (~14年度) の役員候補選任 (役員立候補又は役員推薦をお願いします。)
- 6 2013年度「総会」開催予定 (2013年11月9日<土>)

3. 会計報告と監査報告 (会計報告: 桂井洋介・1982年園芸学部入学、監査報告: 荒井秀雄)

2011年度「英友会」会計報告

繰越 (2011年11月1日現在) 785,878円

収入

寄付 (2011年11月4日から2012年10月9日まで)	47,000円
総会会費	373,000円
総会時寄付	193,000円
利息 (2012年4月、2012年10月)	112円
収入合計	613,112円

支出

2011年11月総会費用 (飲食・ワイン代)	250,000円
60周年記念誌制作関係費用	629,549円
振り込み手数料	1,470円
総会・交流会関係費用	54,990円
通信費他雑費	151,338円
トミーズカップ用 トロフィー制作費用	65,510円
支出合計	1,152,857円

次期への繰越金額

2012年10月31日現在 246,133円

*会計報告、監査報告は総会にて承認された。

3. 会則の改定案（解説：福部國弘）

千葉大学英友会会則改定案

1. 会の名称

本会は千葉大学英友会と称する。

2. 会の目的

本会は千葉大学SESとESSの卒業生及び在籍者相互の親睦を深め、ますます会員の国際的人格の向上を図り、千葉大学ESSの発展に寄与することを目的とする。

3. 会員

本会会員は正会員、準会員を持ってこれを構成する。

正会員：千葉大学SESとESSの卒業生、顧問

準会員：千葉大学ESS総会において部員として認められ、在席したその他の者

4. 役員の選任

本会の会長、役員は下記の通り選任する。

会長の選任：任期末に役員会で議決し、総会の承認を得る。

役員の選任：会長が推挙し、総会の承認を得る。

5. 組織

本会の目的を達成するために英友会会長と役員及びESS在籍者代表により役員会を構成し会の運営に携わると共に、ESS在籍者と緊密な連携を図る。

6. 役員の任務

会長及び役員の任期は2年とし、留任を妨げない。

7. 総会

原則として年1回の総会を開催する。

8. 会計

適時会費を徴収し会の運営に充当する。

2 総会の費用はそのつど個人負担とする。

3 この会の会計年度は、毎年11月1日に始まり翌年10月31日に終わる。

9. 改定

総会出席者の3分の2以上の賛成があった場合は、本会則を改正することができる。

付則

本会は、1949年10月1日に設立。

この会則は、1960年5月4日から発効する。

この会則は、一部変更したことにより1981年2月22日から施行する。

この会則は、一部変更したことにより2009年11月14日から施行する。

この会則は、一部変更したことにより2012年11月10日から施行する。

*本会則改定は案通り総会にて承認されました。

4. E S Sの活動報告

- 1 ドラマセクション
- 2 スピーチセクション
- 3 デイバートセクション
- 4 ディスカッションセクション

各セクションがプロジェクターを使い楽しく紹介してくれました。今年の新入生が各セクション共に大幅に増えており、それぞれのセクションの活動内容にもアイディア一杯の工夫がなされているので今後の活動が楽しみです。

第二部 講演会

講演者：大滝長孝様（1962年工学部電気工学科入学）

タイトル：「S E Sの思い出とサラリーマン人生」

落語：（芸名：花伝亭長太楼）演題：「片棒」

S E S時代の思い出、高度成長期に経験した商社時代の話は同時代の者には共感を呼び、若い世代には興味深いものだったと思います。定年後に始めた「落語」もプロ顔負けの実力に達しており、ボランティア活動による養護施設での落語講演等楽しい話が満載でした。落語も噂通りの内容で、非常に楽しい講演会でした。改めて大滝さんに厚く御礼申し上げます。

第三部 懇親会（於： 生協第一食堂）（司会：桂井洋介）

高井前会長の乾杯で始まり、各年代別の輪に諸先輩方が加わり、田端先生も参加された楽しい会となりました。

以上